



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	<国際共同研究>東アジア文化と近代法（15） 目次・はしがき
Author(s)	今井, 弘道; IMAI, Hiromichi
Citation	北大法学論集, 54(6), 171-172
Issue Date	2004-02-27
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/15262
Type	departmental bulletin paper
File Information	54(6)_p171-172.pdf



東アジア文化と近代法（一五）

東アジア比較法文化研究会

目次

はしがき

「報告一」東アジアにおける西洋法思想の受容と進化論

報告二「韓国公正取引委員会における審決構造と手続についての改善方案」

翻訳

今井 弘道（北海道大学）

國分 典子（愛知県立大学）

申 鉉 允（韓国・延世大学校）

中山 武憲（名古屋経済大学）

報告三 「法律の文化的人格の役割について——中国の信訪制度の歴史的命運に寄せて——」

李 瑜 青（中国・上海大学）

翻訳 坂口 一成（北海道大学大学院生）

報告四 「中国民事訴訟制度の新しい展開——最高人民法院の証拠に関する最新の訴訟規則を中心として——」

王 亜 新（中国・清華大学）

翻訳 王 泰 升（台湾・台湾大学）

報告五 「台湾における法文化の変遷——不動産売買を素材として——」

翻訳 鈴木 賢（北海道大学）

報告六 「法文化と東アジア法系の確立」

翻訳 鈴木 賢（北海道大学）

はしがき

以下の諸論稿は、①二〇〇二年一月三―四日に、中国・上海大学で行われた我々のプロジェクトの日中韓の合同研究会（統一テーマは、「東アジアにおけるFTA交渉の進展と法哲学と経済法の交叉」）、②及び二〇〇三年三月五―六日に、日本・北海道大学で行われた日中韓の研究会（統一テーマは、「韓国・日本・中国の競争法と競争政策協力方案」）でなされた報告である。①に属するのは、国分論文、李論文であり、王亜新論文、王泰升論文、倪論文、そして申論文は、②に属する。但し、この二つの研究会で行われた報告のうち、経済法およびそれと関連するテーマを扱ったものについては、本誌前号にまとめて掲載した。ここに掲載されるものは、いわばそれ以外のものであり、敢えていえば、法哲学・法思想・比較法文化に関わる領域のもの、ということが出来る（但し、申論文については、諸般の事情で前号に間に合わなかったため、本号に掲載した）。

（今井弘道）

ある。①に属するのは、国分論文、李論文であり、王亜新論文、王泰升論文、倪論文、そして申論文は、②に属する。但し、こ